

4 花実の森 活動報告(2024年7月)

第145号

活動日 2024年7月15日(月・祝日)	時間 8:30~12:30	天候 (曇り)	記録者 (菅田)
-------------------------	------------------	------------	-------------

参加者氏名 (スタッフ25名) 公募家族 12家族42名 内子ども21名	(スタッフ)花実の森:田路、小林、樋口、菅田、塩ノ谷、橋野、中原、南木、伊牟田 (里山G)与茂田さん、岡本さん、吾妻さん (本部)辻本理事長、片山理事、南木理事、竹内理事、山本理事、小山理事、森下理事、橋本理事、大井理事、小藪理事 (救急ボランティア)平井さん、鈴木さん、中谷さん、北条さん
--	---

親子カブトムシ生育観察会(2024年第1回 成虫観察)

今回実施した
内容

親子自然環境体験型環境学習として企画し、(公財)こうべ市民福祉振興協会の協力を得て実施した2024年度『親子カブトムシ生育観察会』。年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り学ぶイベント。今回はコロナ禍やイノシシ被害などで中断していた休止期間を経て5年ぶりの開催となった。

本来ならば年3回シリーズの2回目に当たる「成虫観察」であるが、本年は春の1回目ができなかったのが今回が1回目となった。

林縁に作った生育場所での成虫観察(成虫探し)と、見つかったカブトムシを子どもたちに持ち帰ってもらい、自宅での飼育観察をしてもらうこととした。

また、成虫探しの後は、以降の観察会につなげるための【カブトムシ産卵場所づくり】をみんなの手で実施し、今回の観察会イベントを終了した。子どもたちのいい思い出となり、自然環境への関心が芽生えてくれることを期待したい。

写真記録



スタッフ朝礼後ただちに受け入れ準備にかかる



救急救護班の設置も完了



受付はじまる



さあ始めるよ～楽しみに待っていてくれたかな？今日はカンカン照りじゃないから丁度いいみたいだね。慌てずふざけず優しく探してあげてください。



【里山の話】

六甲山は、昔は木を燃料にするため切りすぎたはげ山になり、災害が多かったこと。その後、山で働く人たちが木を植え立派な森によみがえったこと。しかし燃料として使わなくなった森は、繁りすぎて暗くなり、草花が育たない。花が咲かないと昆虫も来なくなり、昆虫をエサにする野鳥も来なくなってしまった。最近では、いろいろな人たちが森の手入れをするようになり、ここでも珍しい草花もたくさん咲きはじめ、カブトムシもたくさん育つようになったんだよ。



参加者みんなでお勉強



【カブトムシの一生の話】

カブトムシを探す前にカブトムシの一生について知っておこうね。カブトムシは夏に卵から産まれて幼虫になり、脱皮を繰り返しながら冬眠し、翌年の6月にさなぎを経て成虫となって土の中から出てくるんだ。夜にエサや友達をさがして行動し、昼は土の中や枯れ葉の下で過ごすので普通はなかなか見つけにくい。夏に卵を産んで9月ころには死んでしまう昆虫なのです。死んだカブトムシはどこかに埋めてあげてください。

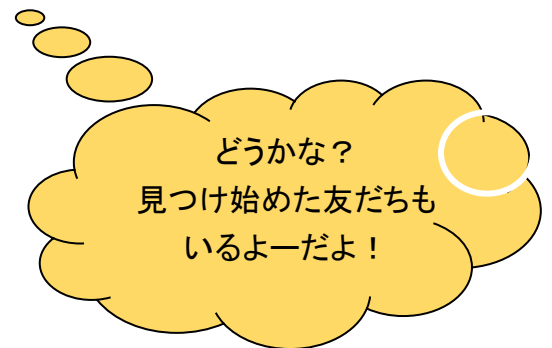


【カブトムシが育っている生育場所の話】

毎年夏から春にかけて下草や落ち葉を集め、間伐材から作った木材チップを混ぜて作った産卵場所に育つ環境を説明。幼虫の間は飛んでゆくことはないが、金網柵はイノシシに食べられるのを防ぐため。6月末には天井にも金網をはり成虫が飛んでゆくの防いでいることなどを説明。

【さあ 探しはじめよう】





【見つけたカブトムシたち】



やった～ 記念にハイパチリッ！



わっ 珍しくメスの掘り出し



「放してくれ〜」羽をはばたき飛びたとうとする元気な成虫君



そうそう つかむときは角がいいんだ。



卵と1 齢幼虫も見つけ！



【見つかったカブトムシはいったんケースに仮入れ】…触りたくてしかたない

【カブトムシのプレゼント 持ち帰り観察・飼育】



じゃんけんで勝ち抜いた3 家族には雌雄ペアのプレゼント⇒7 月中に卵を産み、10 月ころにはたくさんの3 齢幼虫に育つから、自宅で飼育できない分はここに里帰りさせるんだよ。

【来年の観察会に向けての産卵場所づくり】



今回も「落ち葉集めによる産卵場所づくり」を、子どもたちに体験的に実施してもらいましたが、事情によりその後金網木枠はこの場所から撤去（林内に移設）しました。

【参加記念品 竹トンボの置物 手渡し】 “飛びたて 元気に 神戸っ子”



4



ふりかえりシートを記入してもらって終了。
スタッフのみなさん お疲れさまでした。

花実の森 活動報告(2024年9月)

第148号

活動日 2024年9月11日(水)	時間 15:30~16:30	天候 (晴)	記録者 (菅田)
-----------------------------	--------------------------	-----------	-------------

参加者氏名 (スタッフ6名) 公募家族 1家族4名 内子ども2名	(スタッフ)花実の森:菅田 わ本部:辻本理事長、竹内理事 KSC事務局:堀さん、高倉さん、山本さん
--	--

今回実施した内容	<p>親子カブトムシ生育観察会(2024年第2回) 第1回時持ち帰りした幼虫が産卵⇒孵化し、3齢幼虫まで育てた家族から里帰りしてきた幼虫の引き取りイベント)</p> <p>2024年度第1回として7月に『親子カブトムシ生育観察会(成虫探し)』を実施した際、3家族に雌雄の成虫を持ち帰ってもらい、「産卵・孵化・幼虫の生育観察」をしてもらっていた。3家族とも産卵・孵化生育に成功したとの報告を受けていたが、内1家族からは「3齢幼虫にまで育てたのが30匹以上がいるので育てられない」とのことから、今回、数匹を残して里帰りの受け入れを行った。</p>
----------	--

写真記録



予想通りしっかり3齢幼虫まで育ててきた30匹ほどをもってきてくれた。



林内の幼虫生育場所に里帰り。
 ここxでこの後11月いっぱい腐葉土をしっかりと食べて、12月からの冬眠にそなえることになる。





準備を進めてきた場所が、このところの猛暑続きだったため、かなり乾燥状態だったのでしっかりと水分補給をしておく。また、今回は初めての試みとして、街の製材所から譲り受けてきた木くずも混ぜ込んだのでいる。多分快適な腐葉土になると思うが、このことも今後のノウハウにつながるだろう。



里帰りしてきた幼虫が育つ場所に表示看板を立ててイベント作業完了。
この後もうしばらくはしっかり食べて冬眠に。
この次は3月末に元気な冬眠明3齢幼虫での再会を待ってるよ。